

事後評価シート

コード 5-2-6	事務事業名 剪定枝リサイクル事業	所管部課 環境防災部ごみ減量推進課
--------------	---------------------	----------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 家庭から排出される庭木の剪定枝等をチップや土壌改良材等にすることで、可燃ごみの減量を図る。また、再資源として地域の緑化に貢献し、最終処分場の延命化を図る。	事業の区分 <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 行革項目 <input type="checkbox"/> その他の事務事業
	実施内容、実施方法 モデル地域として2つの自治会を対象地域とし、家人が自ら伐採・剪定した樹木・枝・葉(落ち葉を含む)を市で収集する。その後、委託業者により他から収集した剪定枝と混ぜてチップ化し、堆肥にする。	根拠法令等 西東京市剪定枝リサイクルモデル事業取扱要領
	事業開始時期 平成 16 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

評価指標の設定	活動指標名 収集日数	活動指標の考え方(定義) 堆肥化するためにモデル地域から剪定枝等を収集した日数
	成果指標名 1次 搬入量	成果指標の考え方(定義) 1次 モデル地域から収集した剪定枝等を委託業者へ搬入した量
	1次 堆肥化処理量	1次 モデル地域から収集した剪定枝等を堆肥化した量(推定量)
	2次	2次

		単位	15年度	16年度	17年度	18年度
事務事業データ	事業費(A)	千円	0	1,123	1,459	1,109
	国庫支出金					
	都支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源		1,123	1,459	1,109	
	所要人員(B)	人		0.2	0.2	0.2
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	1,666	1,637	1,637
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	0	2,789	3,096	2,746
	単位当たりコスト (E)=(D)/ (処理量)	千円	#DIV/0!	0.25	0.11	#DIV/0!
歳入	千円					
活動指標	目標値	日			51	51
	実績値	日		34	51	
活動指標	目標値					
	実績値					
1次成果指標	目標値	kg				18,000
	実績値	kg		11,318	27,020	
1次成果指標	目標値	kg				12,600
	実績値	kg		7,923	18,914	
2次成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	
	26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	26市で剪定枝リサイクルを実施している市があるが、剪定枝の収集、チップ化、堆肥化等、当市とは若干方法が違い、取組みに差異がある。当市と同じ方法で実施している市は無い。
	運営上の制約条件・外部要因等	

コード 5-2-6	事務事業名 剪定枝リサイクル事業	所管部課 環境防災部ごみ減量推進課
--------------	---------------------	----------------------

【事業所管部評価】

検証項目	選択基準	ランク	選択理由、特記事項等
1 目的の適切さ・目標	目的の妥当性 4 上位施策と目的が合致しており、施策に対する貢献度は他の事業と同程度である	▼	4
	目標の妥当性 2 目標を定量的に設定できないが、定性的には設定している	▼	2
	緊急性 3 どちらかと言えば、実施した方がよい	▼	3
2 市が関与する必要性	法的義務性 2 法律・条例での規定はないが、通達や要綱・要領で実施が規定されている	▼	2
	必要性 2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	▼	2
	民間との役割分担 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみである	▼	4
3 内容の適切さ	ニーズ 2 市民(市内)ニーズが推測でき、推測に見合ったサービスであることを説明できる	▼	2
	規模・方法の妥当性 3 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	▼	3
	公平性 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民または団体である	▼	2
4 実施手段の適切さ	有効性 1 質・水準の改善にはあまり取り組んでいない	▼	1
	効率性 1 具体的な計画や目標等に基づいたコスト低減には特に取り組んでいない	▼	1
	独自性 5 国・都及び市内には同種の目的を有する他の事務事業はない	▼	5
合計			31

	評価結果	判断理由、説明等
総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	不純物の少ない品質の良い堆肥ができており、りさいくる市で市民に無料配布している。また、剪定枝等は重量があり、この削減がごみ減量には大きく寄与する。継続して実施するが、まだ事業開始から間もないため、費用対効果等を含めて今後の事業展開を検討したい。

18年度における改善点	西東京市ごみ資源化及びごみ減量推進協議会の提言に基づき、生ごみ・剪定枝の堆肥化等について市内における検討組織を設置し、既存事業の検証等を図る。
-------------	---

二次評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input checked="" type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	モデル事業として課題や効果が把握でき、一定の成果が確認できた。剪定枝の堆肥は質が良いが、市内においては循環経路が確立していないため、移送費をかけて市外へ移送している。そのため、将来的な再開も考慮して一旦休止し、市内循環の確立に向け、事業の再構築をしていく必要がある。
------	---	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input checked="" type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	本事業は市内循環を想定したものである。しかし、実際は、市内の剪定枝を他県へ有料で運搬し、他県の野菜くず等と混ぜ堆肥化したものを本市へ運搬し、配布している。この点を踏まえると、一度モデル事業を休止して、市内循環経路を確立した上で、事業の再構築をしていくべきである。
--------	---	---